

令和5年度 指導と評価の年間計画（シラバス） 様式1

学部	中学部	授業名	美術	週当たりの授業時数	2	授業担当者	
学年	2年	教科等	美術	主な段階	中学部1段階	採択教科書	あーとぶっく ひらめき美術館2館

年間目標

ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等	ウ 学びに向かう力、人間性等
造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。	造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができる。	楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。

年間計画

学期	単元（題材）	主な学習活動	単元（題材）の評価規準
通年	鑑賞	・制作した作品をワークシートなどで振り返り、鑑賞する。	ア：材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表している。 イ：表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げている。 ウ：意欲的に取り組もうとしている。
前期	彫刻（張り子）	・張り子技法でプラスチックごみ、新聞紙、和紙などを使い立体作品を制作する。	ア：材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表している。 イ：造形的な特徴などからイメージをもっている。 ウ：意欲的に取り組もうとしている。
	共同制作（学年旗づくり）	・友だちと協力、分担して1つの作品を作り上げる。 ・布に色を塗ったり、型紙を使って文字を描いたりする。	ア：材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表している。 イ：経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想している。 ウ：協調性を意識しようとしている。
	絵画（墨彩画）	・筆や紙などの道具の基本的な扱い方、技法やその特徴を知り、見本に倣って制作する。	ア：形や色彩、材料や光などの特徴について知る。 イ：経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想している。 ウ：意欲的に取り組もうとしている。
後期	工芸（樹脂）	・レジンや樹脂素材を用いて、工芸作品を作る。	ア：材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表している。 イ：表し方や材料による印象の違いなどに気付き、自分の見方や感じ方を広げている。 ウ：造形活動に楽しく取り組もうとしている。
	共同制作（学校祭の背景、道具づくり）	・装飾、道具などを、さまざまな種類の素材から選んで制作する。	ア：材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表している。 イ：経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想している。 ウ：協調性を意識しようとしている。
	デザイン（コラージュ）	・折り紙、新聞、雑誌、チラシなど様々な紙素材と絵の具などを用いて、絵画作品を作る。	ア：形や色彩、材料や光などの特徴について知る。 イ：経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想している。 ウ：意欲的に取り組もうとしている。